

生活設計

自分の人生を自分らしく生きるために、生活設計を考えましょう。

KEY WORD : ①生活設計 ②ライフイベント ③ライフコース



生活設計に必要な3つの要素

夢や目標

まずは、「自分にとって大切なことは何なのか」「何を実現したいのか」という人生観や自己実現のあり方について考えることが、生活設計全体の指針になります。

資金計画

夢や目標をより現実的なものとして考えるために、現在の家計（収入と支出）や資産の状況を正確に把握し、将来のライフイベントに向けた資金計画を立てることが大切です。

リスク管理

夢や目標、現在の状況とあわせて、将来のリスクやその備えについて考えることも大切です。

人生の3大費用

人生の中の特に大きな支出として「教育費用」「住宅費用」「老後費用」があり、人生の3大費用と呼ばれています。これらの支出に対してどのように資金を準備するのかを考えることが「資金計画」です。

教育費用 目安の金額 **1,114万円**

(幼稚園3年間、小学校~高校は公立、大学は私立文系に自宅から通った場合)

P 8-9

住宅費用 目安の金額 **3,898万円**

(土地付き注文住宅の場合)

P 10-11

老後費用 目安の金額 **5,719万円**

(65歳~87歳の支出の合計)

P 12-13

WORK 1 30歳になったときの自分を描いてみよう。

① 仕事は？ _____

② 趣味は？ _____

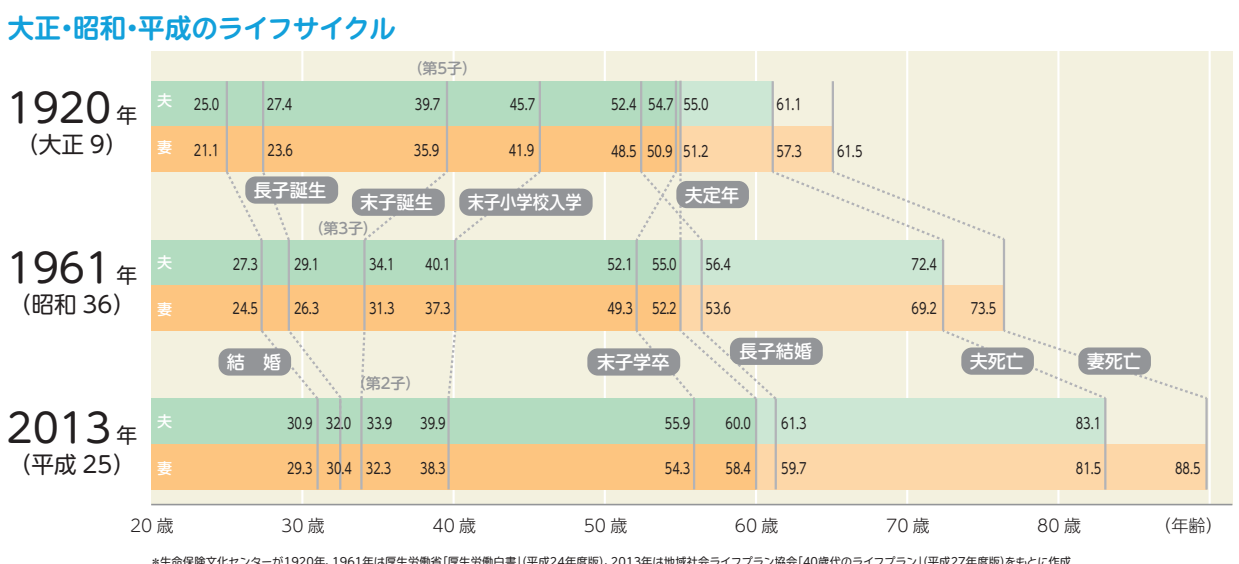
③ 家族は？ _____

④ その他 _____

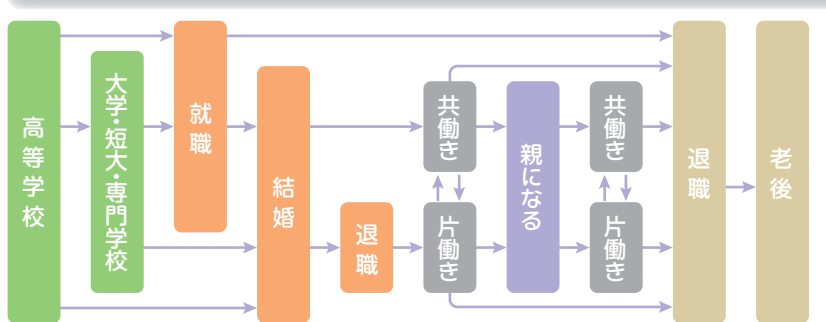
⑤ 住まいは？ _____

ライフサイクルの変化

大正・昭和と現代の平均的なライフサイクルを対比させたものです。時代を追うに従って初婚年齢が高まり、それに伴い出産年齢も高くなっています。さらに平均寿命が延びたことにより、定年後の老後の期間も延びていることがわかります。



さまざまなライフコース



人が一生の間にたどる道筋のことを「ライフコース」といいます。将来を考えるにあたっては、卒業、進学、就職、結婚など、人生の節目となるライフイベントを目安にするとよいでしょう。長い人生をいくつかの節目に分けて、それぞれの時期の目標や重視するポイントを考えることで、現在の生活を見直し、生活設計を具体化することができます。

まとめ 生活設計と資金計画はセットで考える必要があります。理想の人生を送るためにも、今からできることを考えていきましょう。